

第4回理事会報告

日 時 平成24年1月13日（金）午後3時～4時30分
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 荒木孝二
<総務理事> 栗原英見
<常任理事> 山崎芳昭、福田仁一、向井美恵、上西秀則、
覚道健治、勝海一郎、後藤滋巳、一戸達也、
佐々木啓一、松村英雄、中島信也
<理 事> 高津茂樹、森戸光彦、江里口彰、神原正樹、
榎本貢三、吉江弘正、俣木志朗、高田 隆、
渋谷 鉦、嶋田昌彦、金子明寛、古谷野潔、
有地榮一郎、朝田芳信
<顧 問> 黒崎紀正
□国際歯科研究学会日本部会（JADR）
<会 長> 村上伸也
欠席者 <副 会 長> 佐藤田鶴子
<常任理事> 川添堯彬
<顧 問> 井出吉信

[議長 栗原総務理事]

1. 開 会

荒木副会長より、開会の挨拶がなされた。

2. 挨 拶

江藤会長より、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

栗原総務理事より、次の資料に基づき、報告がなされた。

- 一般会務報告（平成 23 年 10 月 14 日～平成 24 年 1 月 12 日）
- 第 3 回理事会報告（平成 23 年 10 月 14 日開催）
- 第 5 回常任理事会報告（平成 23 年 10 月 14 日開催）
- 第 6 回常任理事会報告（平成 23 年 12 月 12 日開催）

2) 第 22 回日本歯科医学会総会準備状況報告

栗原総務理事より、標記について、次の資料に基づき、報告がなされた。

- 第 22 回日本歯科医学会総会関係報告
（平成 23 年 10 月 14 日～平成 24 年 1 月 12 日）

3) 会計現況報告

山崎常任理事より、平成 23 年度 12 月の学会会計および第 22 回日本歯科医学会学術大会会計現況報告がなされた。

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

特になし。

(2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長より、歯科医療技術革新推進協議会において、歯科医療機器・歯科医療技術産業ビジョンの改訂作業にあたっているが、在宅訪問歯科診療機器と材料の開発と、国際競争力の強化が課題となっている。なお、在宅訪問歯科診療機器と材料の開発について、小委員会を設置し対応している旨報告。

(3) 専門医制度の在り方の検討

江藤会長より、標記について、口頭報告が行われた。

(4) 学会機構の改革
特になし。

(5) 国際連携の推進

▶ 日中歯科医学大会 2012 について

栗原総務理事より、日中歯科医学大会 2012 の開催概要ならびに最終演題数について報告。

また、事前参加登録は 1 月 31 日まで受け付けている旨補足した。

(6) 歯科医学未来構想の構築

江藤会長より、前執行部において検討した歯科医学研究所構想については、日本学術会議とも連携し対応をしている旨報告。

5) その他

▶ 日本学術会議の活動報告について

古谷野理事より、標記について、口頭報告が行われた。

▶ 国際歯科研究学会 (International Association for Dental Research) 活動に関する調査研究報告について

栗原総務理事から、本学会が JADR へ委託している標記調査研究報告の概要を説明後、村上伸也 JADR 会長が詳細を説明した。

▶ 独立行政法人国民生活センターからの要望について

栗原総務理事より、独立行政法人国民生活センターから、「歯科インプラント治療に係る問題-身体的トラブルを中心に-」に関する要望があった旨資料に基づき報告。なお、日本歯科医師会は、この要望に対し、平成 24 年 1 月 12 日付で回答している旨補足した。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供
特になし。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 専門医制度の在り方の検討

特になし。

(4) 学会機構の改革

江藤会長より、2) 事業計画の推進－(10) 学会機構改革について、にて一括で協議する旨の提案があり、承認された。

(5) 国際連携の推進

特になし。

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 顕彰審議会答申の取り扱いについて

栗原総務理事より、平成23年度日本歯科医学会会長賞授賞候補者の選考に係る顕彰審議会答申の取り扱いについて諮られた。

協議の結果、答申内容を了承し、1月20日(金)第87回評議員会の中で、授賞式を執り行うこととした。なお、授賞者は以下の通りである。

<研究部門>

小林義典(日本歯科大学生命歯学部教授/日本歯科大学生命歯学部推薦)

田中貴信(愛知学院大学歯学部長/日本顎顔面補綴学会推薦)

天笠光雄(東京医科歯科大学名誉教授/日本歯科薬物療法学会推薦)

<教育部門>

福島俊士(鶴見大学名誉教授/日本補綴歯科学会推薦)

下野正基(東京歯科大学名誉教授/日本臨床口腔病理学会推薦)

伊藤公一(日本大学歯学部教授/日本口腔衛生学会推薦)

<地域歯科医療部門>

村居正雄（長野県歯科医師会会員／日本口腔衛生学会推薦）

- (2) 専門分科会資格審査委員会答申の取り扱いについて（認定分科会登録）
栗原総務理事より、日本歯科医学会認定分科会登録申請学会の資格審査に係る、専門分科会資格審査委員会答申の取り扱いについて諮られた。
協議の結果、答申内容を了承し、日本口腔腫瘍学会の認定分科会への登録について、第 87 回評議員会の議案とすることとした。
- (3) 認定分科会への登録について
栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り、1 月 20 日開催の第 87 回評議員会に、第 1 号議案として上程することとした。
- (4) 日本歯科医学会規則の一部改正について
栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り、1 月 20 日開催の第 87 回評議員会に、第 2 号議案として上程することとした。
- (5) 日本歯科医学会認定分科会承認基準の一部改正について
荒木副会長より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り、1 月 20 日開催の第 87 回評議員会に、第 3 号議案として上程することとした。
- (6) 平成 23 年度学会会計収支補正予算について
山崎常任理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り、1 月 20 日開催の第 87 回評議員会に、第 4 号議案として上程することとした。
- (7) 平成 24 年度事業計画について
栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り、1 月 20 日開催の第 87 回評議員会に、第 5 号議案として上程することとした。

(8) 平成 24 年度学会会計収支予算について

山崎常任理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り、1月20日開催の第87回評議員会に、第6号議案として上程することとした。

(9) 平成 24 年度第 22 回日本歯科医学会学術大会会計収支予算について

山崎常任理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り、1月20日開催の第87回評議員会に、第7号議案として上程することとした。

(10) 学会機構改革について

協議に先立ち、江藤会長より、学会機構改革について、資料に基づき説明。

その後、栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り、1月20日開催の第87回評議員会に、第8号議案として上程することとした。

(11) 学会第 87 回評議員会の運営について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通りの日程、タイムスケジュールで運営することが決定した。

5. 閉 会

荒木副会長より、閉会の辞。